

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re Patent Application of	)	
	)	
Akira ISHIZAKI	)	Group Art Unit: Unassigned
	)	
Application No.: Unassigned	)	Examiner: Unassigned
	)	
Filed: October 20, 2003	)	Confirmation No.: Unassigned
	)	
For: PLASTIC ZIPPER AND PLASTIC BAG	)	
PROVIDED WITH THE ZIPPER	)	

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIORITY DOCUMENT**

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application in the following foreign country is hereby requested, and the right of priority provided in 35 U.S.C. § 119 is hereby claimed:

Japanese Patent Application No. 2002-306265

Filed: October 21, 2002

In support of this claim, enclosed is a certified copy of said prior foreign application. Said prior foreign application was referred to in the oath or declaration. Acknowledgment of receipt of the certified copy is requested.

Respectfully submitted,

BURNS, DOANE, SWECKER & MATHIS, L.L.P.

Date: October 20, 2003

By:

Platon N. Mandros  
Registration No. 22,124

P.O. Box 1404  
Alexandria, Virginia 22313-1404  
(703) 836-6620

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日                      2 0 0 2 年 1 0 月 2 1 日  
Date of Application:

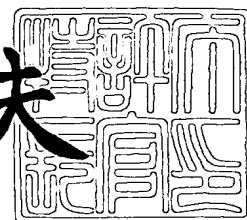
出 願 番 号                      特 願 2 0 0 2 - 3 0 6 2 6 5  
Application Number:  
[ST. 10/C] :                      [ J P 2 0 0 2 - 3 0 6 2 6 5 ]

出      願      人                      石 崎 資 材 株 式 有 限 公 司  
Applicant(s):

2 0 0 3 年    7 月 1 1 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号    出証特 2 0 0 3 - 3 0 5 7 1 2 0

【書類名】 特許願

【整理番号】 IS12118-01

【提出日】 平成14年10月21日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B65D 27/12

【発明者】

    【住所又は居所】 奈良県香芝市関屋北3丁目6-12

    【氏名】 石崎 昭

【特許出願人】

    【識別番号】 391022234

    【氏名又は名称】 石崎資材株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100091432

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 森下 武一

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 007618

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

    【包括委任状番号】 9714353

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プラスチック製ジッパーテープ及び該ジッパーテープを備えたプラスチック製袋

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 互いに嵌合、解除可能な凹部及び凸部をそれぞれテープ状のベース部分に形成した一对のプラスチック製ジッパーテープにおいて、  
少なくとも前記一对のベース部分が互いに異なる色に着色されており、  
前記一对のベース部分の幅寸法が互いに異なっていること、  
を特徴とするプラスチック製ジッパーテープ。

【請求項 2】 一辺を開口部とした状態でプラスチックフィルムを溶着し、該開口部の内側面に、互いに嵌合、解除可能な凹部及び凸部をそれぞれテープ状のベース部分に形成した一对のプラスチック製ジッパーテープを取り付けたプラスチック製袋において、

前記ジッパーテープは、少なくとも一对のベース部分が互いに異なる色に着色されており、かつ、一对のベース部分の幅寸法が互いに異なっており、

前記ベース部分はその上端が互いに高さが異なる段差状に前記開口部の内側面に取り付けられていること、

を特徴とするプラスチック製袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、プラスチック製袋の開口部に設けられるプラスチック製ジッパーテープ及び該ジッパーテープを備えたプラスチック製袋に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来から、プラスチック製の袋として、図 3 に示すように、1 枚の原反フィルム 2 を下辺部分で折り返して両側部分を溶着（溶着部 a，a は斜線を付して示す）してカットし、あるいは溶断し、上辺を開口部 3 とした袋 1 が提供されている。

**【0003】**

この袋1の開口部3の内側面には、互いに嵌合、解除可能な凹部7及び凸部8をそれぞれテープ状のベース部分6に形成した一对のプラスチック製ジッパーテープ5が溶着されている。

**【0004】****【発明が解決しようとする課題】**

ところで、前記プラスチック製袋1にあっては、開口部3を開ける場合、袋1を構成するフィルム2の開口部3部分（以下、この部分をフラップ部4と記す）の上端部を指でつまんで左右に拡げることになるが、フラップ部4，4の上端が同じ高さに揃えられているため、フラップ部4，4をそれぞれ指でつまむことは困難で煩雑でもあった。

**【0005】**

このような不具合を解消するため、一方のフラップ部4を、図3（B）に示すように一点鎖線Xでカットし、フラップ部4，4を段差状態とすることが考えられる。この場合、フィルム2に印刷が施されていれば、フラップ部4，4の長短を容易に見分けることができ、長い方のフラップ部4の内側面に指を当てて容易に開口することが可能である。

**【0006】**

しかし、フラップ部4，4が透明のまま残されていたり、ジッパーテープ5，5が開口部3の上端に近接して設けられているような場合には、フラップ部4，4の長短及び外側、内側を容易には判別できないという問題点を有している。

**【0007】**

そこで、本発明の目的は、袋の開口部を容易に内側から指でつまむことができるように構成可能なプラスチック製ジッパーテープを提供することにある。

**【0008】**

本発明の他の目的は、開口部を容易に内側から指でつまむことができるプラスチック製袋を提供することにある。

**【0009】****【課題を解決するための手段、作用及び効果】**

以上の目的を達成するため、第1の発明は、互いに嵌合、解除可能な凹部及び凸部をそれぞれテープ状のベース部分に形成した一对のプラスチック製ジッパーテープにおいて、少なくとも前記一对のベース部分が互いに異なる色に着色されており、前記一对のベース部分の幅寸法が互いに異なっていることを特徴とする。

#### 【0010】

また、第2の発明は、一辺を開口部とした状態でプラスチックフィルムを溶着し、該開口部の内側面に、互いに嵌合、解除可能な凹部及び凸部をそれぞれテープ状のベース部分に形成した一对のプラスチック製ジッパーテープを取り付けたプラスチック製袋において、前記ジッパーテープは、少なくとも一对のベース部分が互いに異なる色に着色されており、かつ、一对のベース部分の幅寸法が互いに異なっており、前記ベース部分はその上端が互いに高さが異なる段差状に前記開口部の内側面に取り付けられていることを特徴とする。

#### 【0011】

前記ジッパーテープにあっては、一对のベース部分の幅寸法が互いに異なっているため、プラスチック製袋の開口部の内側面に取り付けた場合、ベース部分をフラップ部として構成すれば、フラップ部を長短に差のある段差状態とすることができ、しかも、少なくとも一对のベース部分が互いに異なる色に着色されているため（凹部及び凸部を含めて着色されていてもよい）、その長短を容易に見分けることができ、長い方のフラップ部の内側に指を当てて容易に開口することが可能になる。

#### 【0012】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明に係るプラスチック製ジッパーテープ及び該ジッパーテープを備えたプラスチック製袋の実施形態について、添付図面を参照して説明する。

#### 【0013】

図1に本発明に係るプラスチック製ジッパーテープ10を備えたプラスチック製袋20を示す。この袋20は1枚の原反フィルム21を用いて図3に示した従来のプラスチック製袋1と基本的には同じ製袋工程によって製作したものであり

、上辺は開口部 22 とされている。

【0014】

そして、ジッパーテープ 10 は、互いに嵌合、解除可能な凹部 12 及び凸部 13 をそれぞれテープ状のベース部分 11, 11 に形成したものである。このジッパーテープ 10 は押出成形により一体的に成形され、互いに異なる色に着色されている。例えば、一方が青色であれば、他方は赤色や白色であり、識別できる色合いであればどのような色の組合せであってもよい。

【0015】

着色はプラスチック材料に顔料を混入することにより行われ、凹部 12 及び凸部 13 を含めてベース部分 11 に着色したものであっても、あるいは 2 色押出成形法を採用してベース部分 11 にのみ着色したものであってもよい。

【0016】

また、このジッパーテープ 10 はベース部分 11 の幅寸法 A, B が互いに異なっている。詳しくは、凹部 12 及び凸部 13 を中心にして寸法 A1, B1 は等しく設定されているが、寸法 A2 は寸法 B2 よりも長く設定されている。

【0017】

前記ジッパーテープ 10 を、寸法 A2, B2 を上部にして開口部 22 の内側面に溶着し、かつ、袋 20 を構成するプラスチックフィルム 21 の上端をジッパーテープ 10 の上端と一致させれば、寸法 A2, B2 部分をフラップ部 23a, 23b として機能させることができる。この場合、フラップ部 23a, 23b は高さが異なる段差状態（段差 C）となっている。

【0018】

幅寸法 A2, B2 からなるフラップ部 23a, 23b はジッパーテープ 10 のベース部分 11 であり、着色が異なっていることによってその長短及び外側、内側を容易に判別することができる。そして、図 2 に示すように、長い方のフラップ部 23a を一方の手の指でつまみ、そのまま外側面方向（矢印 Y で示す）にずらし、かつ、短い方のフラップ部 23b を他方の手の指でつまんで互いに反対方向に引っ張ると、長短のフラップ部 23a, 23b を容易に分離することができ、開口部 22 を開いて凹部 12 及び凸部 13 の嵌合を解除することができる。

**【0019】**

(他の実施形態)

なお、本発明に係るプラスチック製ジッパーテープ及びプラスチック製袋は前記実施形態に限定するものではなく、その要旨の範囲内で種々に変更できる。

**【0020】**

例えば、ジッパーテープ10は気密性を確実にするために凹部12及び凸部13が2連に設けられているものであってもよい。

**【0021】**

また、前記実施形態において、袋20を構成するプラスチックフィルム21の上端は、ジッパーテープ10のベース部分11の上端と一致させるように製袋したものを示したが、ベース部分11の上端よりも下方に位置していてもよい。さらに、ベース部分11の下部寸法A1、B1はその長さが異なってもよい。例えば、 $B1 = A2$ であり、かつ、 $A1 = B2$ であってもよい。

**【図面の簡単な説明】****【図1】**

本発明に係るプラスチック製ジッパーテープ及びそれを備えたプラスチック製袋を示す断面図。

**【図2】**

前記プラスチック製袋を開ける状態を示す説明図。

**【図3】**

従来のプラスチック製ジッパーテープ及びそれを備えたプラスチック製袋を示し、(A)は斜視図、(B)は断面図。

**【符号の説明】**

10…プラスチック製ジッパーテープ

11…ベース部分

12…凹部

13…凸部

20…プラスチック製袋

21…プラスチックフィルム



2 2 …開口部

2 3 a, 2 3 b …フラップ部

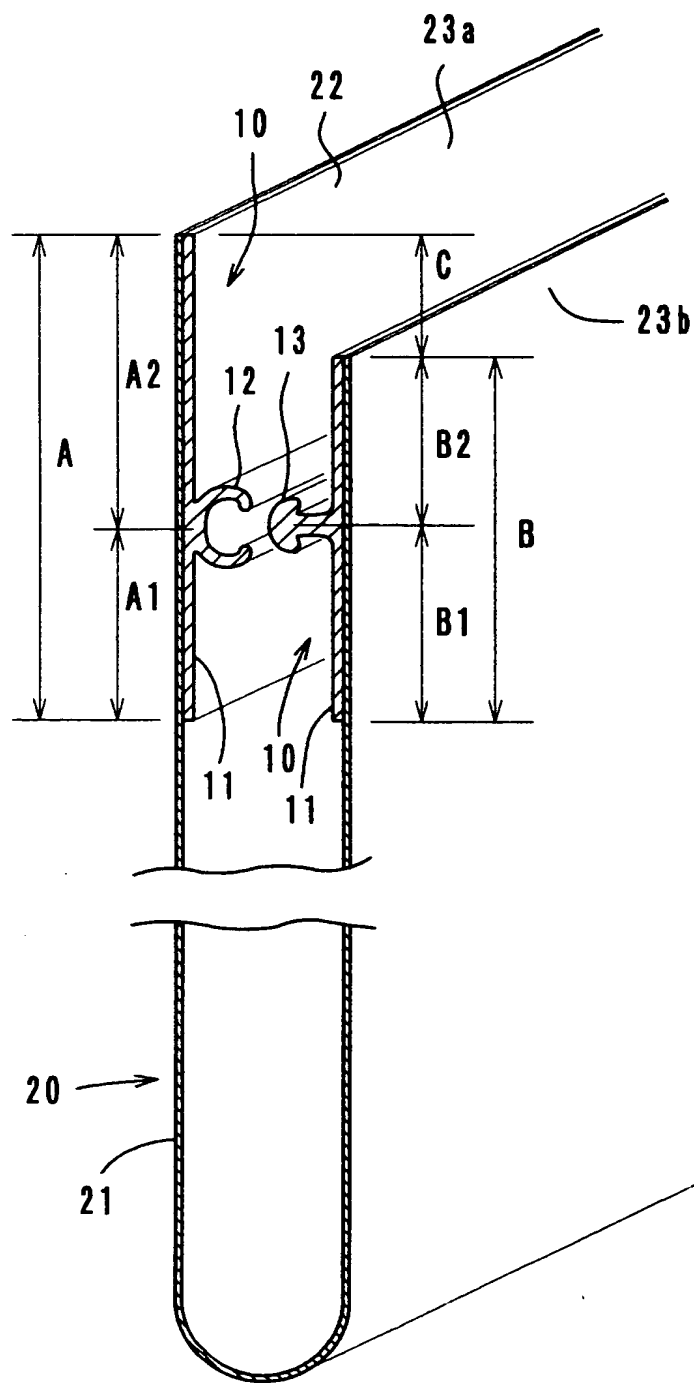
A, B …ベース部分の幅寸法

A 2, B 2 …フラップ部幅寸法

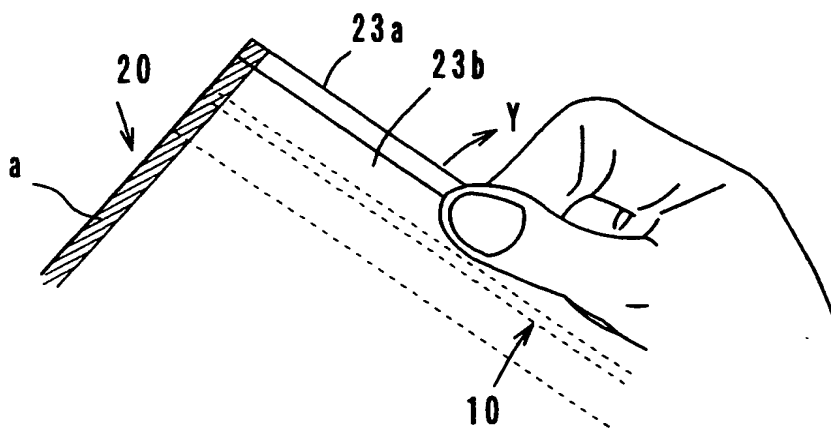
【書類名】

図面

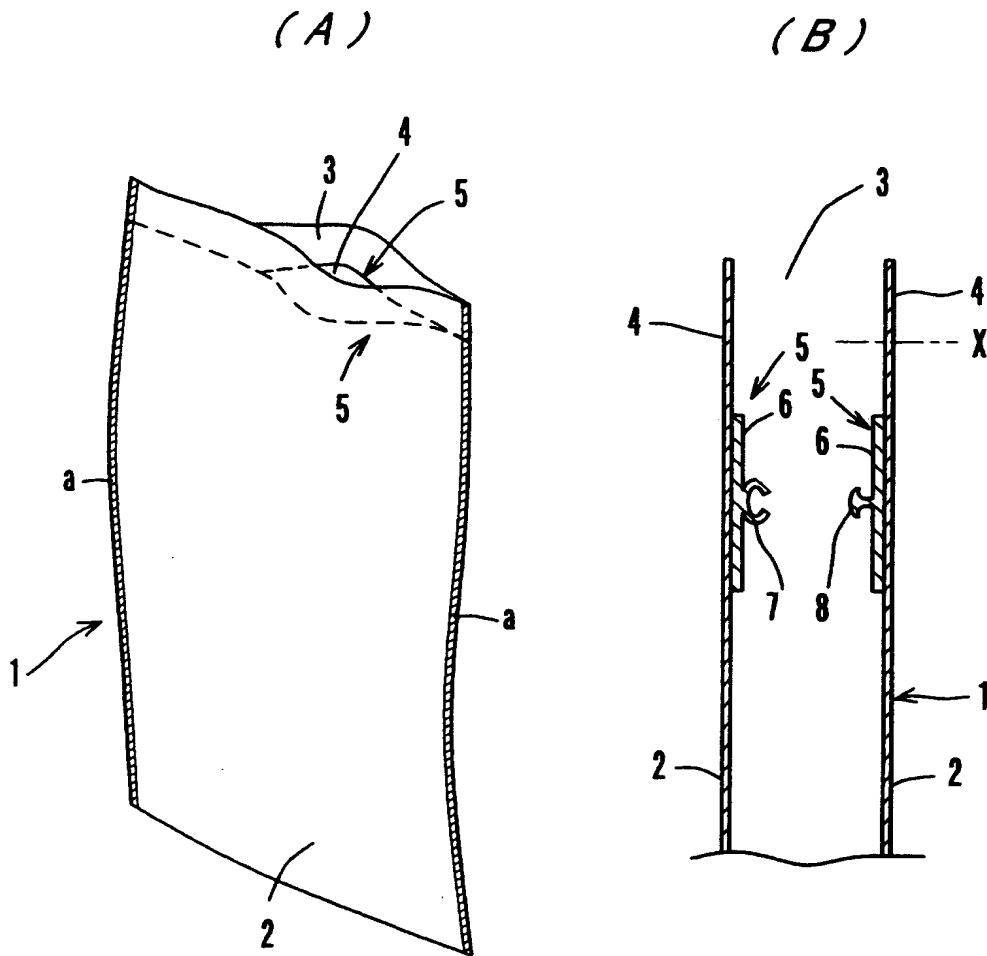
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 袋の開口部を容易に内側から指でつまむことができるように構成可能なプラスチック製ジッパーテープ及び該ジッパーテープを備えたプラスチック製袋を得る。

【解決手段】 上辺を開口部 22 とした状態で原反フィルム 21 を溶着したプラスチック製袋。開口部 22 の内側面には、互いに嵌合、解除可能な凹部 12 及び凸部 13 をそれぞれテープ状のベース部分 11, 11 に形成した一対のジッパーテープ 10, 10 が溶着されている。このジッパーテープ 10 は、少なくともベース部分 11 が異なる色に着色されており、かつ、フラップ部 23a, 23b となるベース部分 11 の幅寸法 A2, B2 が互いに異なり、開口部 22 は段差 C を有している。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 2 - 3 0 6 2 6 5

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[ 3 9 1 0 2 2 2 3 4 ]

1 . 変 更 年 月 日

1 9 9 1 年    2 月 1 8 日

[ 変 更 理 由 ]

新 規 登 録

住    所

大 阪 府 茨 木 市 駅 前 4 丁 目 2 番 2 9 号

氏    名

石 崎 資 材 株 式 会 社

2 . 変 更 年 月 日

1 9 9 7 年    5 月 1 2 日

[ 変 更 理 由 ]

住 所 変 更

住    所

大 阪 府 柏 原 市 旭 ヶ 丘 3 丁 目 1 5 - 4 3

氏    名

石 崎 資 材 株 式 会 社